

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
中1	数学	中学数学1	これからの数学1	STEP 演習 中学数学1 ・完成ノート

1. 授業のねらい

- (1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。
- (2) 文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理をし、一元一次方程式を用いる能力を培う。また、文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例に対しての思考力や判断力を養うとともに、数量の関係を見だし表現し考察する能力を培う。
- (4) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する思考力や判断力を養うとともに、論理的に考察する能力を培う。
- (5) 目的に応じて資料を収集して処理する能力や、資料から適切な情報を読み取る能力を養う。
- (6) 問題の解説を生徒が自ら考え発表を行うことで、受動的な学習から自主的な学習を促す。

2. 授業のすすめ方

- (1) 毎時間、復習のための確認テスト(5点/3分間)を実施します。
- (2) 教科書『これからの数学1』(数研出版)を使用して授業を進めます。
- (3) 補助プリント・小テスト等を利用して、理解の定着と反復練習を図ります。
- (4) 授業中に問題集を扱う場合は、完成ノートを使用します。
- (5) 発展的な問題はグループワークで取り組む場合もあります。
- (6) 電子黒板を利用し、図形等の視覚的な理解を深め、知識の定着を図ります。

3. 学習上の留意点

- (1) 授業の内容が後で確認できるノート作りをすること。ただし、板書を写すこと自体が目的ではないので、問題を解くべき時間にはきちんと演習に取り組むこと。
- (2) わからないことはそのままにせず、必ず質問をして、1回1回の内容を理解してから先に進むこと。理解度に応じて、スタディサプリを予習復習に活用する。
- (3) 副教材の問題集『STEP 演習』は、おもに家庭での学習用なので、できるだけ時間を空けずに家庭で該当部分の問題を解いておくこと。
- (4) 各種テストで間違えた問題は、必ず反復して復習し、自分のものにしておくこと。

4. 副教材・参考文献

- (1) 副教材として、問題集『STEP 演習』・『STEP 演習 完成ノート』(数研出版)を使用します。

5. 評価方法

- (1) 定期考査は、中間考査 100 点、期末考査 100 点で実施します。ただし、第3学期は期末考査のみです。
- (2) 平常点は、1, 2 学期はそれぞれ 40 点、3 学期は 20 点です。以下のものを参考に評価します。
 - ・授業中の取り組み状況
 - ・『毎時間の確認テスト』、『実力テスト』など各種テストの点数
 - ・『問題集ノート』、『完成ノート(書き込み式)』及び『長期休暇や自宅学習期間中の課題』の提出状況
- (3) 観点別評価は、定期考査や平常点を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。
- (4) 学年成績は、定期考査及び平常点を基に学年末に5段階評定で算出します。

6. 定期考査

- (1) 教科書と問題集に基づいて出題する。
 - (2) 各定期考査の範囲(予定)
 - 1 学期中間考査：正の数と負の数、文字と式
 - 1 学期期末考査：文字と式、1 次方程式
 - 2 学期中間考査：比例と反比例
 - 2 学期期末考査：平面図形、空間図形
 - 3 学期期末考査：資料の整理と活用、1 年生の総復習
- ※正式な各定期考査の範囲は、考査の1週間前を目安に担当者より発表されます。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	【これからの数学1】 第1章 正の数と負の数 1 正の数と負の数 2 加法と減法	定期考査 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> 負の数の意味を理解し、数の世界を広げる。 正の数と負の数の四則計算の意味を理解し、計算の仕方を学ぶ。 文字を用いることの必要性と意味を理解する。 文字を用いるときのきまりや計算方法を学ぶ。 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりする。 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解する。 目的に応じて簡単な式を変形する。 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解する。 等式の性質をもとに、1次方程式の解法を学ぶ。 速さ・食塩水などの様々な文章題を、1次方程式をたてて解くことを学び、具体的な場面で活用を知る。
	5	3 乗法と除法 4 いろいろな計算 5 素因数分解	各種提出物 毎時間の確認テスト	
	6	第2章 文字と式 1 文字と式 2 文字式の計算	実力テスト	
	7	第3章 1次方程式 1 1次方程式 2 1次方程式の利用		
二学期	9	第4章 比例と反比例 1 比例 2 反比例 3 比例と反比例の利用	定期考査 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> 関数関係および比例、反比例の意味を理解する。 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解する。 比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明する。 図形の観察、操作や実験などの活動を通して、平面図形に対する直観的な見方や考え方、図形の移動についての理解を深める。 基本的な作図の方法を学び、活用する。 空間における直線や平面の位置関係を知る。 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりする。 図形の観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形に対する直観的な見方や考え方、図形の移動についての理解を深める。 立体の表面積と体積の求積方法を学ぶ。
	10	第5章 平面図形 1 平面図形 2 作図 3 円とおうぎ形	各種提出物 毎時間の確認テスト	
	11	第6章 空間図形 1 空間図形 2 立体の表面積と体積	実力テスト	
	12			
三学期	1	第7章 資料の整理とその活用 1 資料の整理とその活用 2 統計的確率	定期考査 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> 資料の整理に関する用語を知る。 ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解する。 ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明する。 確率の必要性と意味を理解し、相対度数を利用して求める。 問題の解説を説明できるまで理解する。 2人組で協力し分担をして、自主的に学習する。 簡単な整式の加法、減法および単項式の乗法、除法の計算ができるようにする。
	2	問題解説作成・発表	各種提出物 毎時間の確認テスト	
	3	【これからの数学2】 第1章 式の計算 1 式の計算	実力テスト	